

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	今後の対応等について
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%	0%	0%	広い活動空間を確保している。静かに過ごせる空間もある。	環境設定の見直しについては、随時取り組みながら、子どもたちが安心して過ごせる環境作りに努めていく
	2	職員の配置数は適切であるか	100%	0%	0%	基準に沿った職員を配置している こども同士が触れ合い、関係性を築いていけるように集団作りを意識している。個別の対応が必要なお子さんには、ゆっくり場所や人に慣れていけるように調整している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%	0%	0%	段差がなく、点字ブロックやスロープ、手すりなど設置をしている	
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	100%	0%	0%	終礼等で支援の振り返りと次回に向けての話し合いを毎日行っている。	地域の通所支援事業所と情報交換を行い、それぞれの取り組みを伝え合ったり、参考にできる部分を支援に取り入れていくなどの取り組みを進めていく。 事例検討会などを定期的に開催し、支援の質の向上に努めていく
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	83%	17%	0%	毎年アンケートを実施し、保護者様からの意見や感想を参考に改善を行っている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	83%	17%	0%	掲示版とホームページに掲載をしている	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	83%	17%	0%	養成研修等に関連した外部からの研修や実習の受け入れをして、その都度感想等をもらい、業務改善等に繋げている。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0%	0%	毎月勉強会を開催している。 外部の研修にも参加をしている。	
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	83%	17%	0%	学校や児童クラブとの情報交換を進め、計画に反映をさせていきたい。 コドモンを活用して保護者から情報を得たりしている。	ライフサポートブックの活用が十分にできていなかったため、生活全般に目を向けながら情報収集に努め、支援に反映をさせていくようにする。引き続き医療機関での検査結果や訓練の情報も参考に日々の支援や計画書に反映をさせていく。 長期休暇など、普段はできない活動ができることを子どもたちも楽しみにしているので、社会体験活動等を通じた社会性の育ちに着目しながら活動設定を行なっていく。 また日々の支援に関しては個別及び集団での様子を踏まえた活動設定を引き続き行なっていくと共に、曜日毎の長期的な目標を設定し活動プログラムの見直し等も行なっていく。 年度初めにはガイドラインの内容について再度確認を行う機会を作り、支援に反映をさせていく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	83%	17%	0%	ライフサポートブックの活用を進め、生活全体の様子の把握をより丁寧に進めていく。面談等の場面以外でも、送迎時に様子の確認を丁寧に行い、情報として反映をさせていく。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	83%	17%	0%	毎日のミーティングで活動の振り返りや目的の確認をしている。長期的な視野を持った活動設定も具体的に進めていきたい。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	0%	子どもたちも含めた話し合いをして活動内容を決めている。学校での行事等も考慮した活動設定の工夫を行なっている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	83%	17%	0%	夏休みなど、長期休暇の時にしかできない活動プログラムを設定し、子どもたちも楽しみにしてくれていた。個々に応じた細かい設定までは、全員に行き届いていない部分がある。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	83%	17%	0%	個別活動及び集団活動での姿を考慮した計画作成を行なっている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	0%	毎朝ミーティングを行い、支援内容の打ち合わせ等を行なっている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%	0%	0%	毎回、支援の振り返りを行い、次の支援に繋がるよう職員間での情報共有を行なっている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	0%	利用毎に記録を残すとともに、必要に応じて記録を参照し、支援の検証等に役立てている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%	相談員とも連携しながら定期的にモニタリングを行なっている	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	83%	17%	0%	社会体験活動や調理活動、集団遊びや季節の行事など様々な遊びを目的を持って行なっている	
	20	相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%	0%	0%	児童発達支援管理責任者や支援員が参加している	ピアカウンセリンググループの取り組みを始めたことで、就学後も保護者同士の繋がりがりや相談機会の確保ができています。 引き続き、保護者同士のつながりができるように取り組みを進めていくとともに参加者も増やしていけるよう呼びかけを行なっていく
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100%	0%	0%	学校とは日頃から下校時間の確認等を行うことができています。送迎時においても、学校との連絡体制が整っている。	

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	83%	17%	0%	対象となる児童がいなかったため評価できず	地域の通所支援事業所との連携やノウハウの共有など、地域が連携して専門性を高めていけるように情報交換の場を設定していきたいと考えている。また自立支援協議会等に出席し、地域関係機関との連携を深めていく。 以前より児童クラブとの繋がりは増えてきているので、引き続き連携強化に努めていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%	0%	0%	児童発達支援からの情報を引き継ぎ、支援を行なっている。小学校入学前に情報共有を行なっている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100%	0%	0%	将来的就労を見据えた移行支援に関係機関と行い、保護者も交えた情報交換を行なっている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	83%	17%	0%	児童発達支援センターとの連携・情報共有を行い支援をしている。必要に応じて発達障害者支援センターからの助言を得ている	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	67%	0%	33%	児童クラブとは日頃から情報交換を行なっているが、まだ連携が十分にできていない所もある。併行して児童クラブを利用している児童も多いため、活動として設定はしていない。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	83%	17%	0%	自立支援協議会に参加をしている。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%	送迎時に様子を丁寧に伝えるようにしている。またコドモンを使って、保護者に利用時の様子を伝えている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	67%	33%	0%	臨床心理士を中心としたピアカウンセリンググループを作り、毎週開催をしている	
	保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%	
31		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	67%	33%	0%	すぐに返答できない時は上司に相談して返答をするようにしている。専門的なアドバイスができるように専門性を高めていきたい	
32		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	67%	33%	0%	行事の際に保護者会を開催している。また週に1回、保護者同士が情報交換できる場を設けている。参加者を増やしていきたい。	
33		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	0%	担当者がすぐに対応できるようにしている。職員間で周知するようにしている	
34		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	0%	定期的にお便りを発行している。コドモン等も使って情報発信を行なっている	
35		個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	重要な書類は鍵のかかる棚に保管をしている USBメモリ等の使用は禁止している	
36		障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	0%	コドモンを使った情報発信や日々の様子について保護者へ伝えやすくなった。	
37		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	100%	0%	0%	園庭を開放し、子育て支援センターとの交流機会を作った	
非常時等の対応		38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%	0%	0%	職員全員が各種マニュアルを綴じたファイルを所持している。 コドモンにマニュアルを掲載している
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	毎月避難訓練を実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%	0%	法人として研修機会を確保している 虐待防止チェックリストを定期的実施している	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%	0%	0%	必要に応じて保護者様に説明し同意を得ている	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%	0%	0%	アレルギーについては保護者様に確認し、指示書をお預かりしている	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	0%	0%	小さな怪我なども全て記録に残し、職員間で周知をするようにしている	